

令和5年度事業報告

全国的に新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが2類相当から5類に変更され、各地のイベントや行事も通常通り開催されるようになり日常生活を取り戻しつつあります。一方で、物価の高騰など経済活動により私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼしていることが懸念されます。

このような状況の中、シルバー人材センターは、就業の特徴でもある臨時的・短期的又は簡易な就業を希望する高齢者に対し、一丸となって意欲や能力に応じた就業機会、社会参加の場を提供するなど地域の活性化に貢献してきたところです。

亀山市シルバー人材センターは、「第4次中期基本計画」の重点項目である「会員の拡大」「就業の推進」「安全就業の徹底」「運営体制の強化」を掲げ、各委員会を中心に総意を結集して着実に事業推進に努めてまいりました。

その取り組みとして、4月からWeb入会システムをスタートさせ入会者30名中12名の方に入会いただきました。また、シルバーの日奉仕活動、公園のボランティア活動及び講習会などの取り組みや2月には中央コミュニティーセンターで「文化祭」を開催し、273名の市民の方にご来場いただき、センターの活動状況などPRすることができました。

その他、市ホームページにバナー広告を掲載し、センターホームページに繋がるしくみやスマホ教室の開催などデジタル化の推進にも努めました。

さらに3月には交通安全や草刈等の安全講習会を実施し、就業時における安全作業について意識の向上に努めました。

令和5年10月から導入されたインボイス制度は、事務費率の引き上げによる財政状況について十分検証し、翌年度以降の経営に繋げてまいります。

そのような取り組みを経て、男性21名、女性9名の計30名の方が入会されましたが、一方で健康上等の理由により退会者も多く、令和5年度末の会員数は233名となり前年度末より7名減少しました。

また、請負事業の契約金額は配分金単価の引き上げもあり、187,087千円と前年度と比較して約5,087千円増加、派遣事業の契約金額の計は、就業人員の減少等により12,987千円と前年度と比較して約789千円減少となりました。

以下、令和5年度に実施した事業の状況を次のとおり報告します。

実施した主な事業

1 会員の拡大

- (1) 会員紹介制度を活用して、全会員に紹介カードを配布したところ会員から紹介による入会者は15名でした。
- (2) センターホームページの充実や市ホームページにバナー広告を掲載し、センターホームページに繋がるしくみにより事業活動を情報発信しました。
- (3) Web入会システムを導入し、20名の方に活用いただきました。
- (4) 2月に就業開拓委員会と福祉委員会の合同委員会の企画により中央コミュニティセンターで「文化祭」を開催し、273名の方にご来場いただき、会員の作品やセンターの活動状況等をPRしました。
- (5) 交流の機会としてゆずり葉によるサークル活動を3回実施しました。

2 就業の推進

- (1) 市内47事業所で構成された雇用対策協議会の場でシルバー事業の説明を行い、受注拡大に向け要請いたしました。
- (2) 社会福祉協議会との意見交換会を行い、会員が就業可能な業務について推進していく方向で協議いたしました。
- (3) 個人や事業者の方からの就業依頼に対応すべく、センターのホームページの充実に努めました。
- (4) 亀山市からの委託事業である介護予防普及啓発事業は、新たにアプリ de ウェルネス推進事業として受託し、健康増進やデジタル化の推進に努めました。

3 安全就業の徹底

- (1) 草刈・剪定作業の現場を中心に安全パトロールを7月に4回実施し、11箇所の現場を巡回いたしました。
- (2) 会員からのアンケートによる危険な場所や負荷の大きい場所等の現地確認等を行うとともに草刈班の会員との意見交換会を実施いたしました。
- (3) 安全・適正就業委員会において公共施設での就業年齢制限について再度協議した結果、75歳到達の方は面談により1年ごと更新し、78歳まで就業できるよう変更しました。

- (4) 3月5日・6日に三重県交通安全研修センターにて交通安全講習会を実施し、25名の会員に受講いただきました。また、3月26日には社会福祉センターで座学の安全講習会を開催し、46名の会員に受講いただきました。

4 運営体制の強化

- (1) 事業契約額が伸び悩む中で安定的な経営を維持するため不要な経費について見直しに努めました。
- (2) 亀山市長及び亀山市議会議長に要望書を提出し、当センターの事業内容や経営状況を説明するとともに、引き続き補助金の確保、懸案事項について要望を行いました。
- (3) 委員会の縦割りを横断的に連携が図れるよう2委員会の合同によりイベント等を開催しました。
- (4) 職員は、積極的に研修会等に参加し、スキルアップに努めました。
- (5) ICTの活用については、スマホ教室の開催やライン公式アカウント及びSmile to Smileの登録者拡大に努めました。